

5) 田園調布地区

	分析項目	分析結果のポイント
消費者の 現状分析	住民に関する統計 データ分析	<ul style="list-style-type: none"> ・45歳以上の人口（特に45～49歳）の割合が高い。 ・単身者の世帯割合は東京都平均より低く、2人以上世帯の割合が東京都平均より高い。 ・大卒・大学院卒の割合が東京都平均を大きく上回っている。 ・外国人の割合は東京都の平均を上回っている。 ・100㎡以上の住宅に住む住民の割合が高い。
	消費者として感じて いる不足業種	<ul style="list-style-type: none"> ・不足業種として割合が高いのは「食品スーパー」「青果物店」「惣菜店」である。
	区内外の商業地の 利用頻度	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京都心」「大田区内で、大森駅・蒲田駅以外の近隣」の利用頻度が最も高く、6割程度の人々が月に1回以上の頻度で利用している。
	近隣の商店街に 対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「自宅や職場に近い」と評価する人が約9割にのぼっている。 ・また、「価格が安い」「買物に時間がかからない」「品質・鮮度がよい」「店主・店員に商品知識がある」「店主・店員の接客サービスがよい」という点で評価されている。 ・一方で「ベンチなど休憩する場所がない」「駐車場設備が充実していない」「商品の宅配サービスがない」という点で評価されていない。
	あなたにとっての商 店街	<ul style="list-style-type: none"> ・「買物をする場所」と全体の3分の2が回答、次いで「飲食をする場所」が4分の1となっている。 ・他の地区に比べて、「まちなぎわいを楽しむ場所」「地域のコミュニケーションをとる場所」「地域の治安・防犯のための拠点」という回答が相対的に少ない。
	大田区で紹介した い観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ・区内で推薦したい観光資源としては、「羽田空港」「池上本門寺」「大田市場」が高い割合となった。 ・また、「多摩川沿いの水辺」「おおたオープンファクトリー」については、区内平均よりも高い割合となった。
供給者の 現状分析	業況感	<ul style="list-style-type: none"> ・「上昇している」「やや上昇している」の割合の合計が、いずれも区内平均を上回っている。
	供給者として感じて いる不足業種	<ul style="list-style-type: none"> ・不足業種として割合が高いのは「鮮魚店」「喫茶店・カフェ」「書籍・文具」「レストラン」である。 ・また、消費者側でニーズの高かった「食品系スーパー」「青果物」についても、供給者側の不足業種として上位にあがっている。
	良い影響を与える 店舗等	<ul style="list-style-type: none"> ・「良い影響を与える店舗がある」と回答した割合は区内平均よりも低い。 ・「良い影響を与える店舗等」としては、クリニックや病院を挙げる割合が高い。
	脅威を与える 店舗等	<ul style="list-style-type: none"> ・「脅威を与える店舗がある」と回答した割合は区内平均よりも低い。 ・「脅威を与える店舗等」としては、コンビニ、及びマルエツやオーゼキ等の食品系スーパーを挙げる割合が高い。
	商店街活動の 活発度	<ul style="list-style-type: none"> ・「かなり活発」「活発」と回答した商店街の割合の合計は、区内平均と同程度である。 ・一方で「ほとんど活発ではない」と回答した商店街の割合も区内平均より高めとなっている。
	まちづくりへの 関心	<ul style="list-style-type: none"> ・「大いに関心がある」の割合が区内平均よりも高い。一方で「あまり関心がない」の割合についても区内平均より高い。
	コミュニティビジネス へのニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・区内平均と比べ、「まちづくり・地域活性化の支援」「会社や個人の事業支援」「子育て支援」ニーズが相対的に低く、「高齢者支援」「地

	店舗経営上の悩み	<p>域情報の発信「環境・資源の保全」のニーズが、相対的に高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内平均と比べ、「後継者がいない」「思うように人材確保ができない」という悩みの割合が相対的に高く、「店舗が老朽化してきている」「資金繰りに苦労している」という悩みの割合が相対的に低い。
	後継者の有無と今後の事業継続	<ul style="list-style-type: none"> 区内平均に比べて「事業規模の拡大を予定」と回答した割合が低く、「事業規模の縮小を予定」と回答した割合が高い。 また後継者がいる店舗は3割未満と区内平均に比べて低く、5割は自分の代で店舗を閉める意向である。 自分の代で店舗を閉める店のうち、「店舗を人に貸す」店は27.8%と区内平均より高い。
	地域としての特徴・強み	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特徴・強みとして「自然(海、川、林、桜や海などの名所、野鳥、特有の植物・生物)」、「景観・風物(町並み、坂、橋、眺望、路地、長屋、旧家等)」「名所・旧跡(神社仏閣、街道、発祥の地、由緒あるもの等)」を挙げる割合が高く、いずれも区内平均を上回っている。

④田園調布地区の対象の町丁目



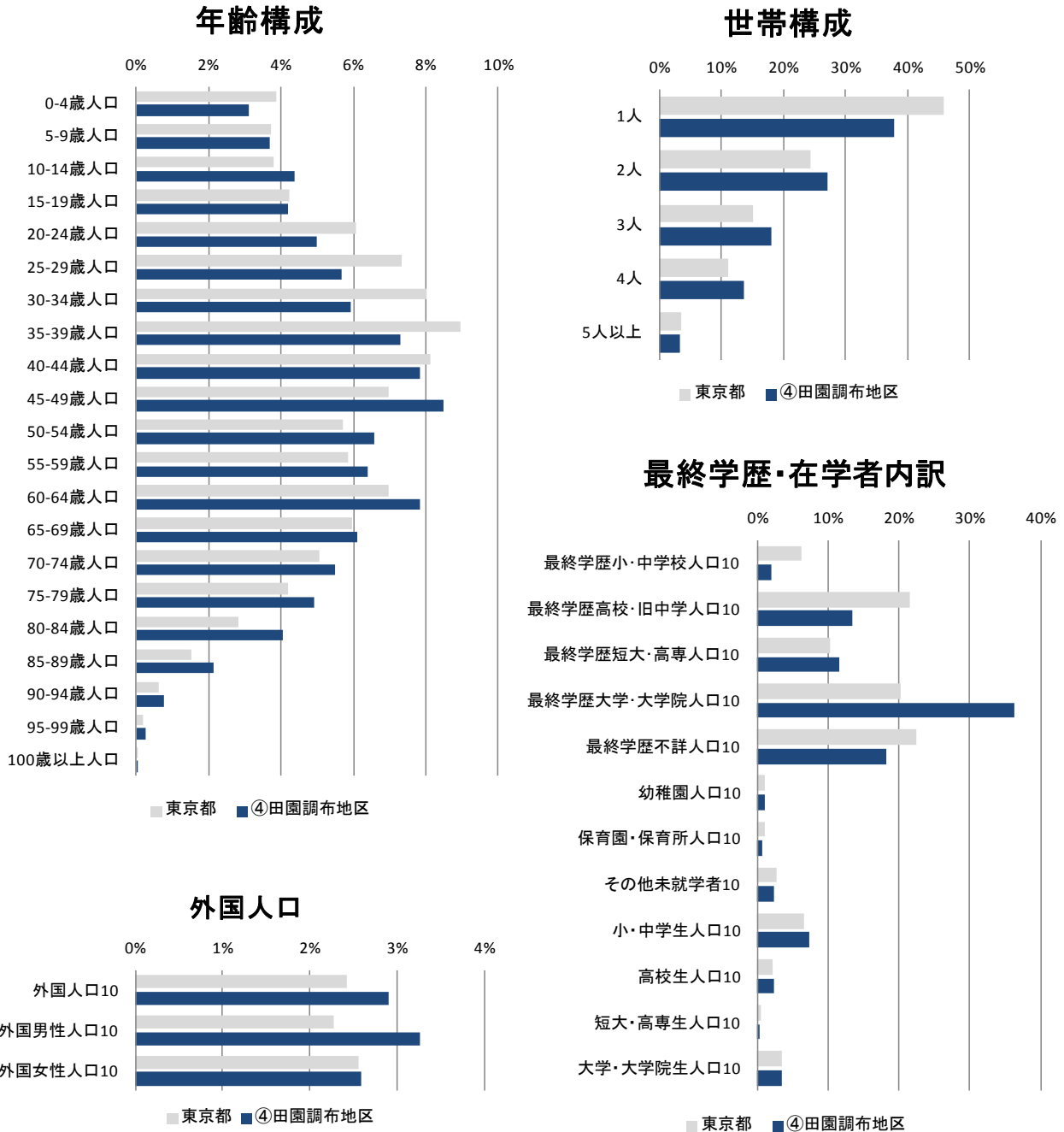
- ・ 田園調布 1 丁目～5 丁目

1)消費者の現状分析

■住民に関する統計データ分析

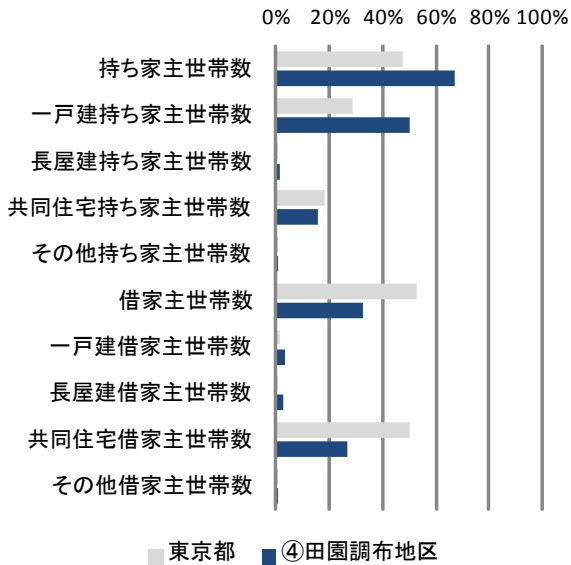
- ・45歳以上の人口（特に45～49歳）の割合が高い。
- ・単身者の世帯割合は東京都平均より低く、2人以上世帯の割合が東京都平均より高い。
- ・大卒・大学院卒の割合が東京都平均を大きく上回っている。
- ・外国人の割合は東京都の平均を上回っている。
- ・100㎡以上の住宅に住む住民の割合が高い。

田園調布地区の住民に関する統計データ（1）

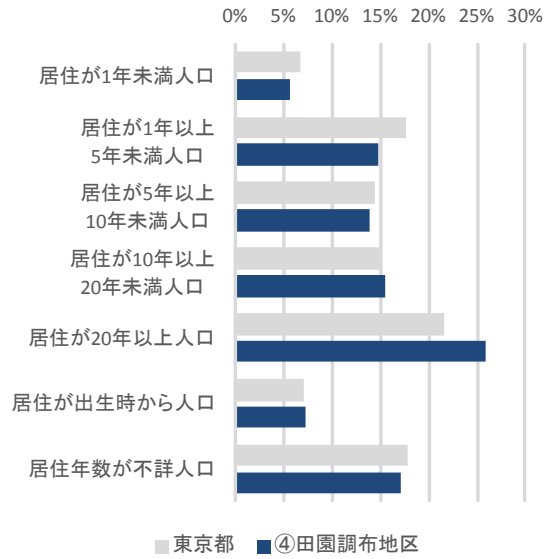


田園調布地区の住民に関する統計データ（2）

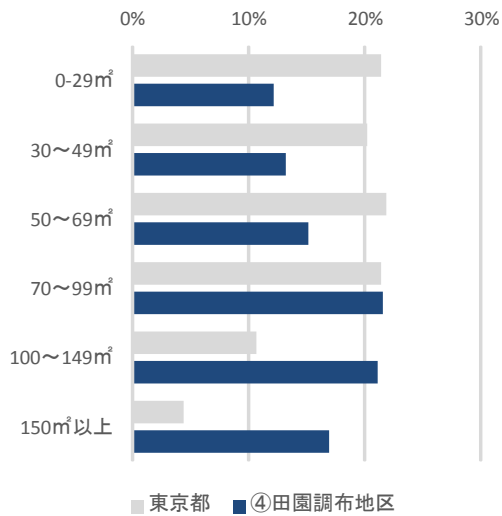
住宅の所有形態



居住年数



住宅面積

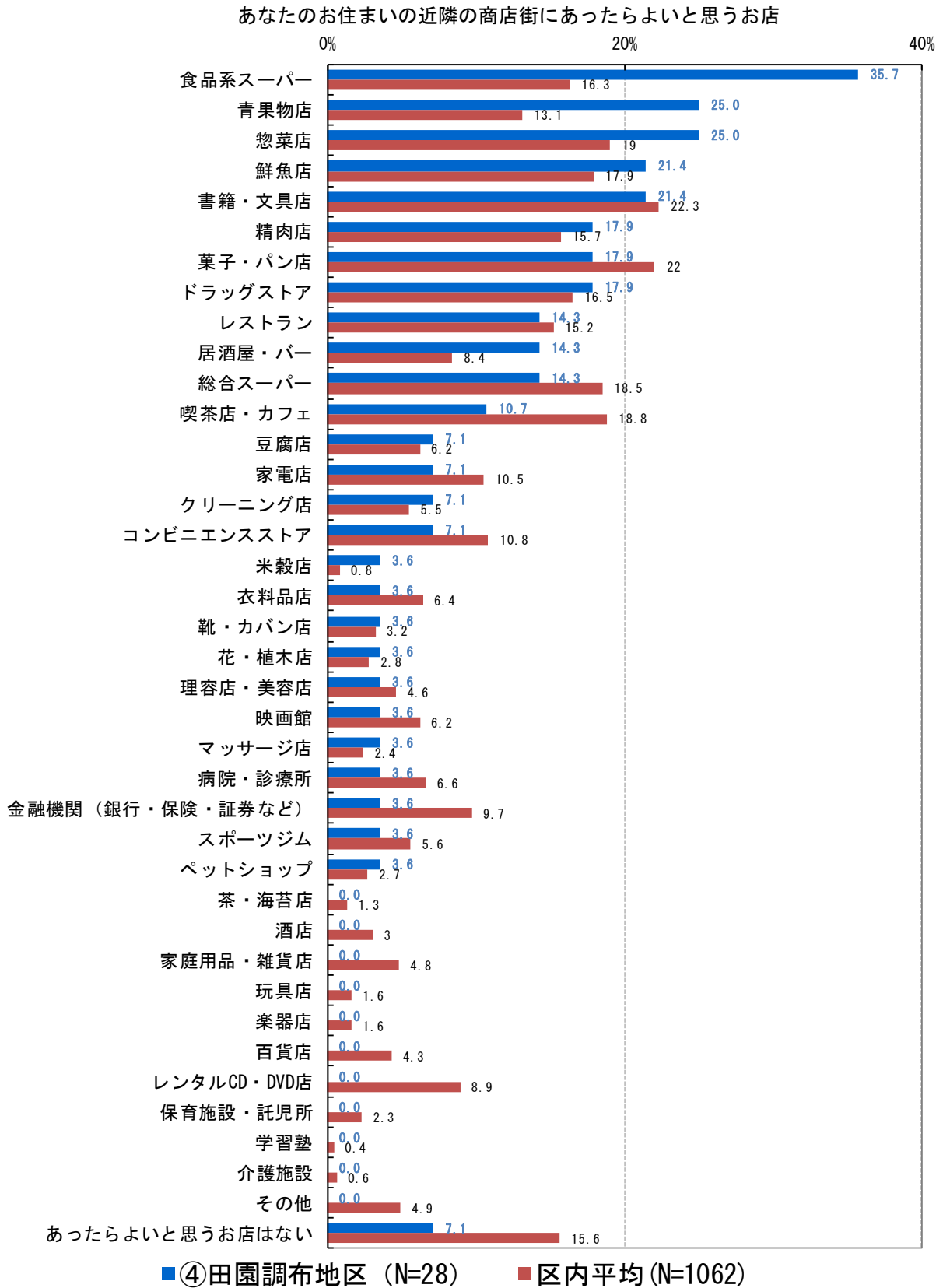


■ 商圏の基礎指標 ④田園調布地区

人口総数10	17,923
世帯数10	8,187
昼間人口総数10S	13,955
昼夜人口比率	78%
全産業事業所数10S	696
小売業事業所数10S	144
飲食店事業所数10S	57

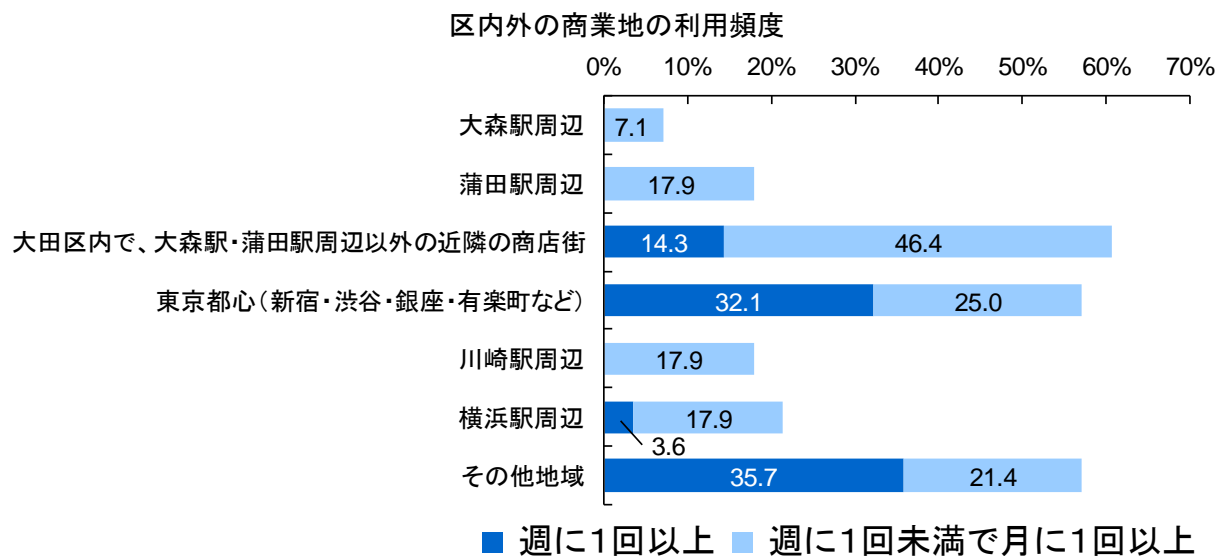
■消費者として感じている不足業種（区民 Web アンケート 問 7-2 の地区別集計）

・不足業種として割合が高いのは「食品スーパー」「青果物店」「惣菜店」である。



■ 区内外の商業地の利用頻度（区民 Web アンケート 問 5 の地区別集計）

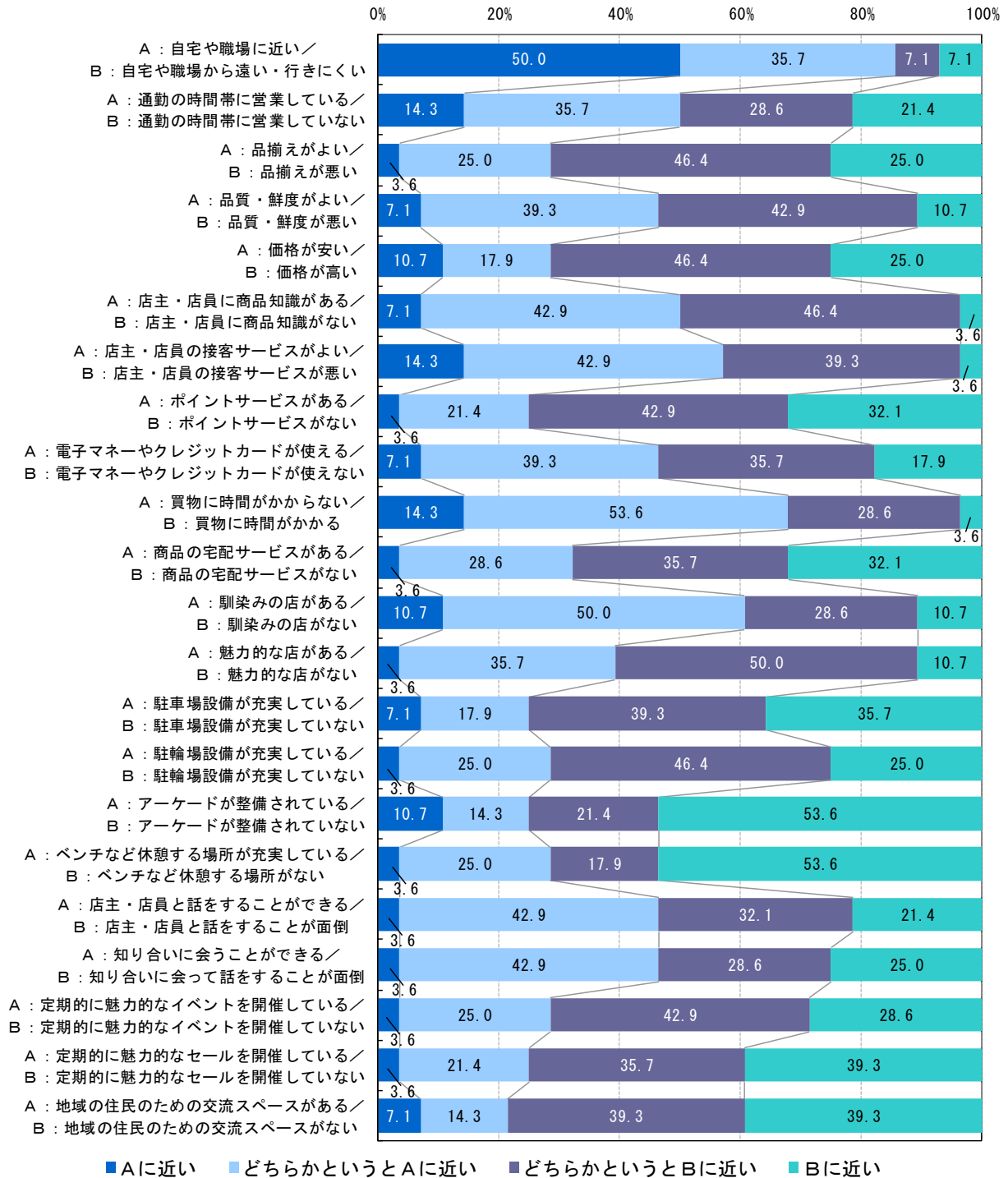
・「東京都心」「大田区内で、大森駅・蒲田駅以外の近隣」の利用頻度が最も高く、6割程度の人々が月に1回以上の頻度で利用している。



■近隣の商店街に対する評価（区民 Web アンケート 問7の地区別集計）

- ・「自宅や職場に近い」と評価する人が約9割にのぼっている。
- ・また、「価格が安い」「買物に時間がかからない」「品質・鮮度がよい」「店主・店員に商品知識がある」「店主・店員の接客サービスがよい」という点で評価されている。
- ・一方で「ベンチなど休憩する場所がない」「駐車場設備が充実していない」「商品の宅配サービスがない」という点で評価されていない。

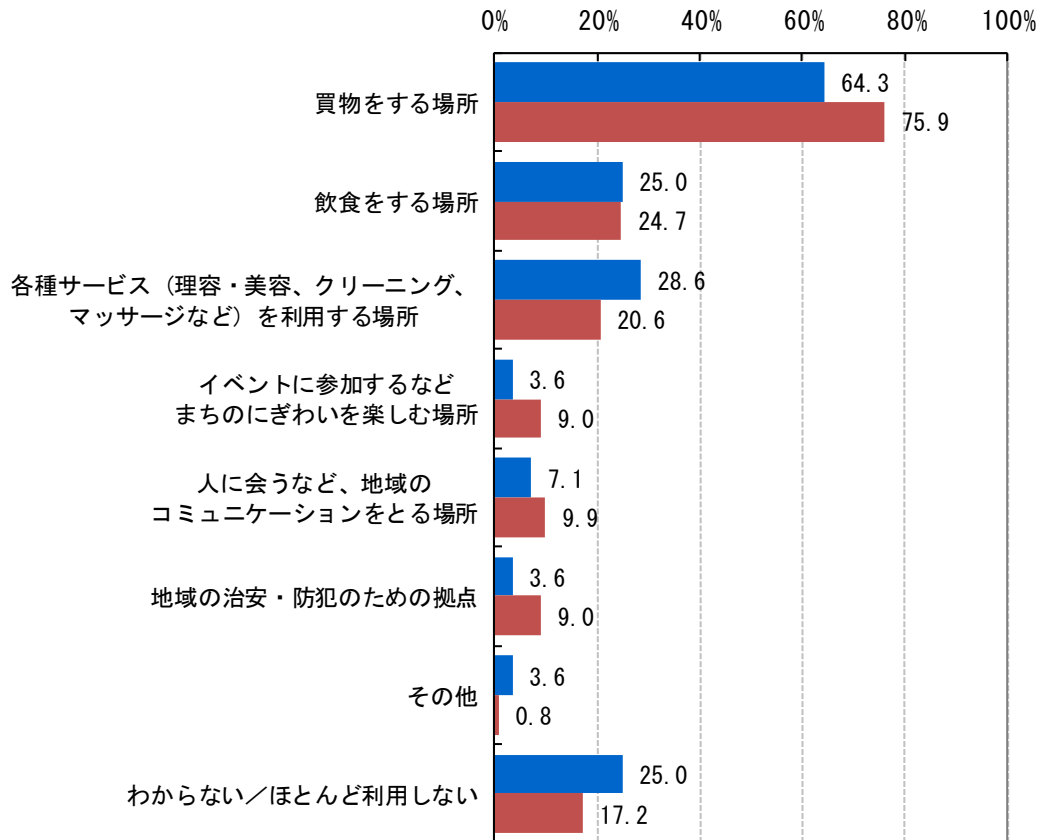
大田区内であなたがよく利用する、またはあなたのお住まいの近隣の商店街について、
あなたのお考えに近い方をお知らせください（④田園調布地区）



■あなたにとっての商店街（区民 Web アンケート 問 8 の地区別集計）

- ・「買物をする場所」と全体の 3 分の 2 が回答、次いで「飲食をする場所」が 4 分の 1 となっている。
- ・他の地区に比べて、「まちなぎわいを楽しむ場所」「地域のコミュニケーションをとる場所」「地域の治安・防犯のための拠点」という回答が相対的に少ない。

あなたにとって、商店街はどのような場所か？
（④田園調布地区）

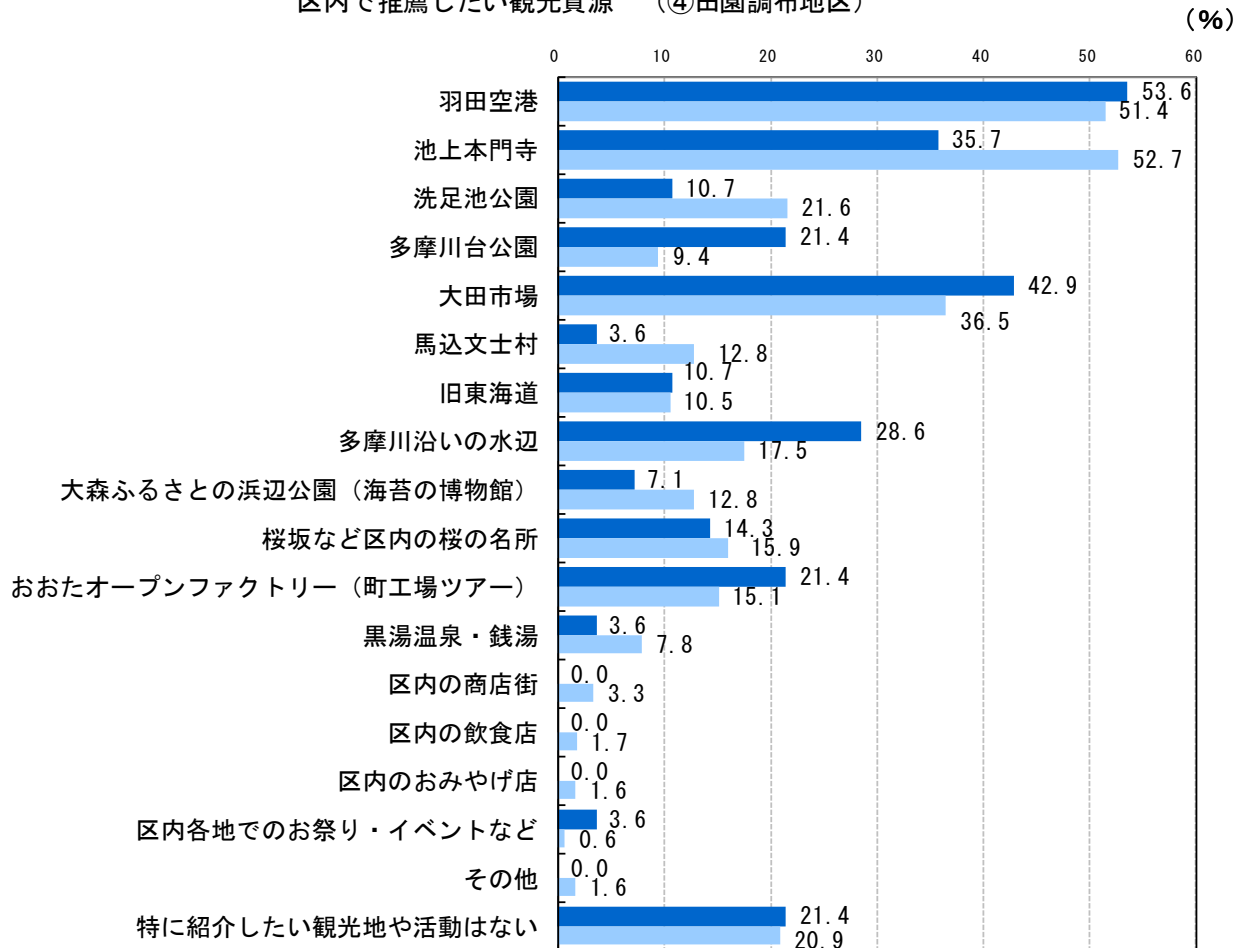


■④田園調布地区 (N=28) ■区内平均 (N=1062)

■区内で推薦したい観光資源（区民 Web アンケート 問 10 の地区別集計）

- ・区内で推薦したい観光資源としては、「羽田空港」「池上本門寺」「大田市場」が高い割合となった。
- ・また、「多摩川沿いの水辺」「おおたオープンファクトリー」については、区内平均よりも高い割合となった。

区内で推薦したい観光資源（④田園調布地区）

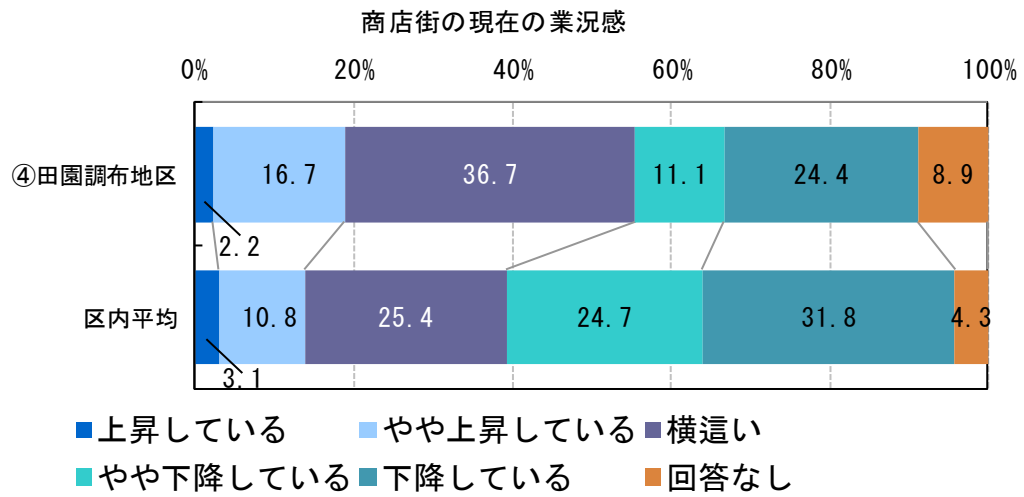


■ ④田園調布地区 (N=28) ■ 区内平均 (N=1062)

2)供給者の現状分析

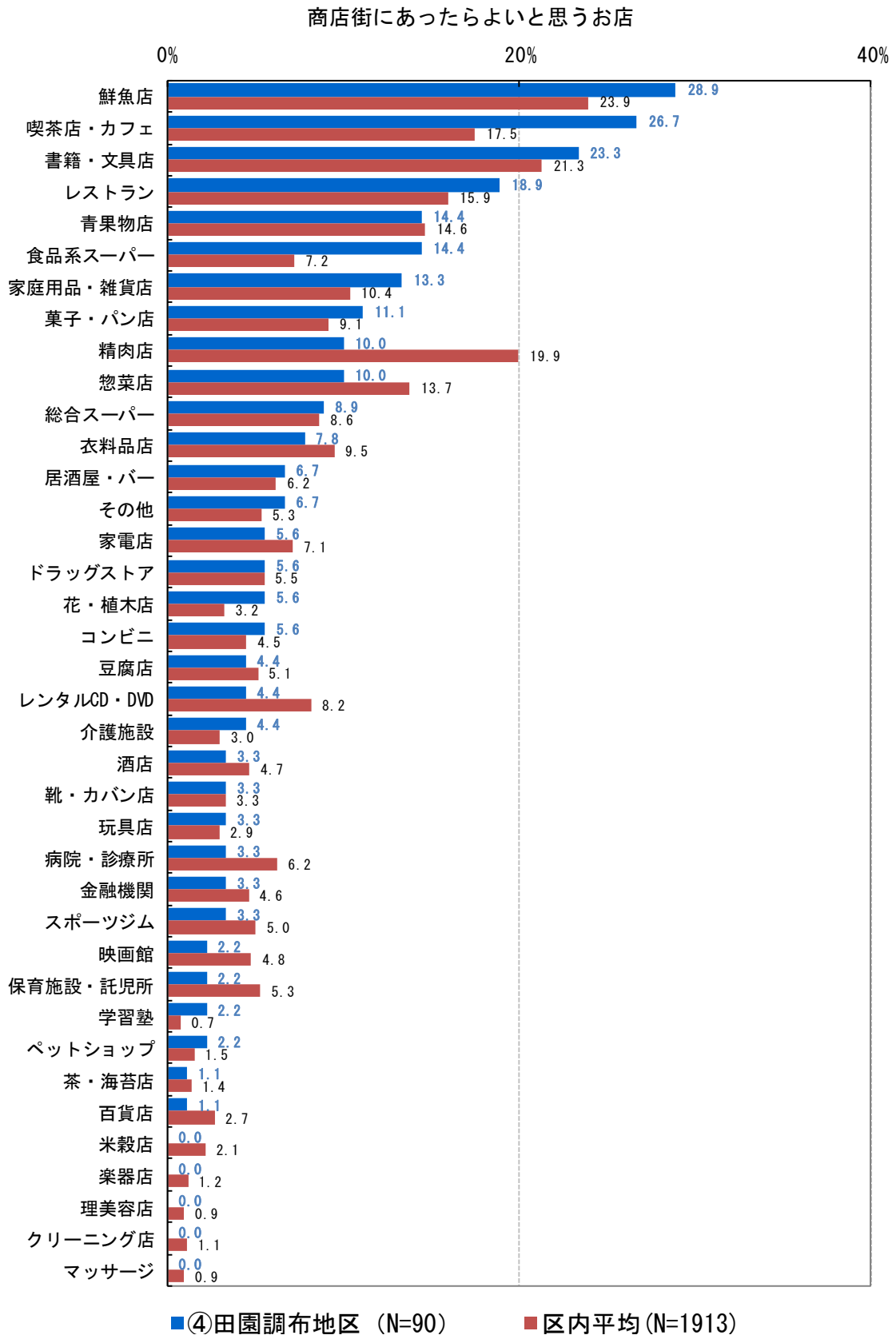
■業況感（個店調査アンケート 問3の地域別集計）

・「上昇している」「やや上昇している」の割合の合計が、いずれも区内平均を上回っている。



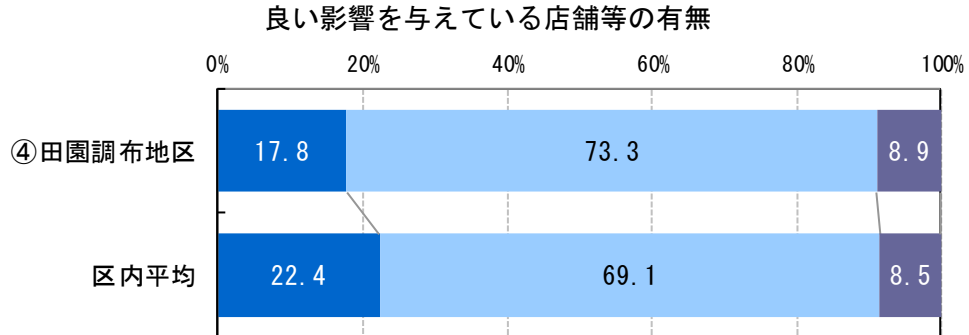
■供給者として感じている不足業種（個店調査アンケート 問6の地域別集計）

- ・不足業種として割合が高いのは「鮮魚店」「喫茶店・カフェ」「書籍・文具」「レストラン」である。
- ・また、消費者側でニーズの高かった「食品系スーパー」「青果物」についても、供給者側の不足業種として上位にあがっている。



■ 良い影響を与える店舗の有無（個店調査アンケート 問4の地域別集計）

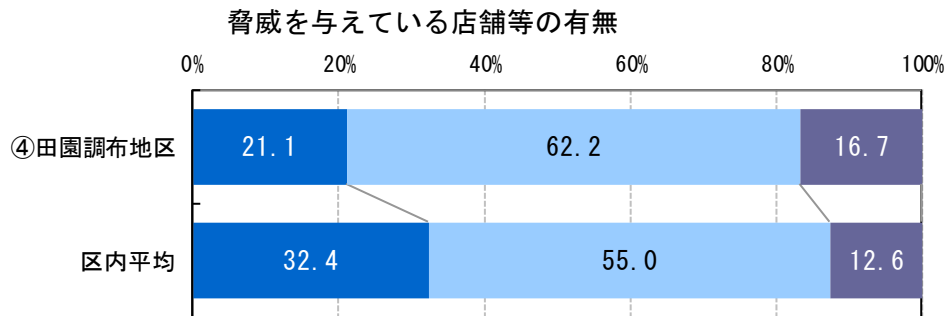
- ・「良い影響を与える店舗がある」と回答した割合は区内平均よりも低い。
- ・「良い影響を与える店舗等」としては、クリニックや病院を挙げる割合が高い。



- 良い影響を与えている店はある
- 良い影響を与えている店はない
- 回答なし

■ 脅威を与える店舗の有無（個店調査アンケート 問5の地域別集計）

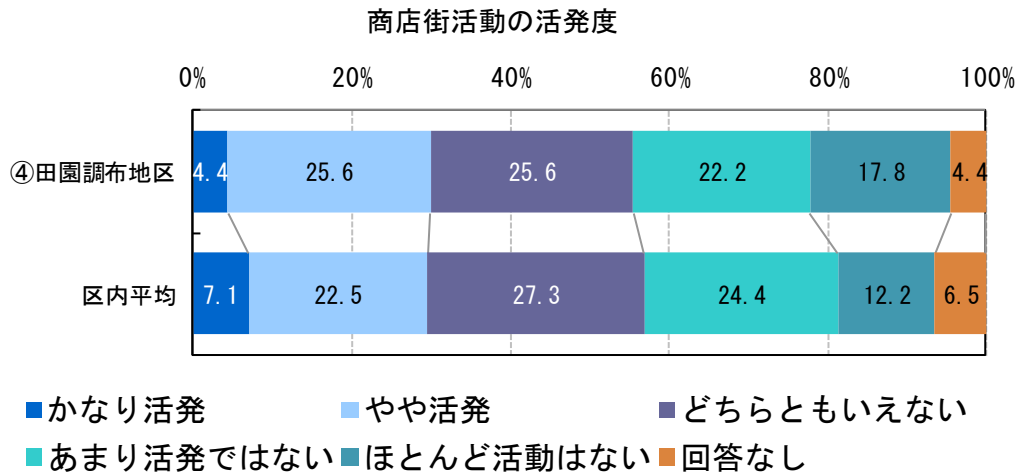
- ・「脅威を与える店舗がある」と回答した割合は区内平均よりも低い。
- ・「脅威を与える店舗等」としては、コンビニ、及びマルエツやオーゼキ等の食品系スーパーを挙げる割合が高い。



- 脅威を与えている店はある
- 脅威を与えている店はない
- 回答なし

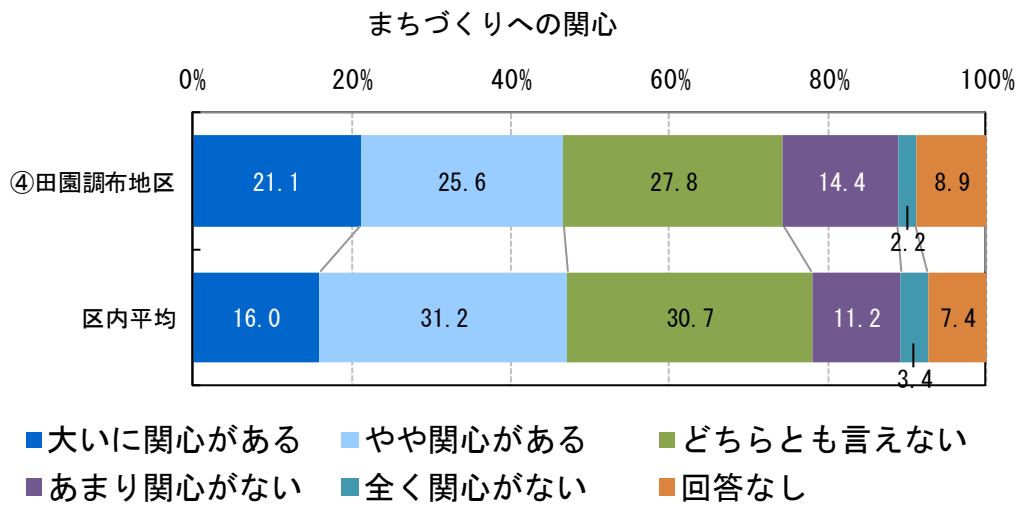
■商店街活動の活発度（個店調査アンケート 問11の地域別集計）

- ・「かなり活発」「活発」と回答した商店街の割合の合計は、区内平均と同程度である。
- ・一方で「ほとんど活動はない」と回答した商店街の割合も区内平均より高めとなっている。



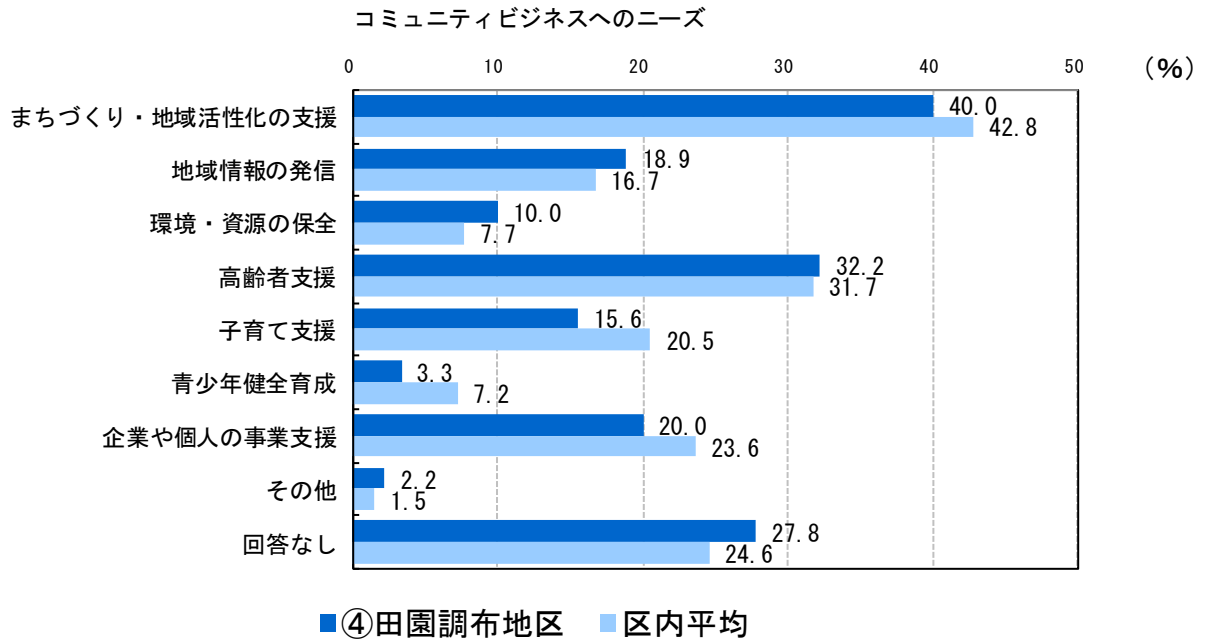
■まちづくりへの関心（個店調査アンケート 問16の地域別集計）

- ・「大いに関心がある」の割合が区内平均よりも高い。一方で「あまり関心がない」の割合についても区内平均より高い。



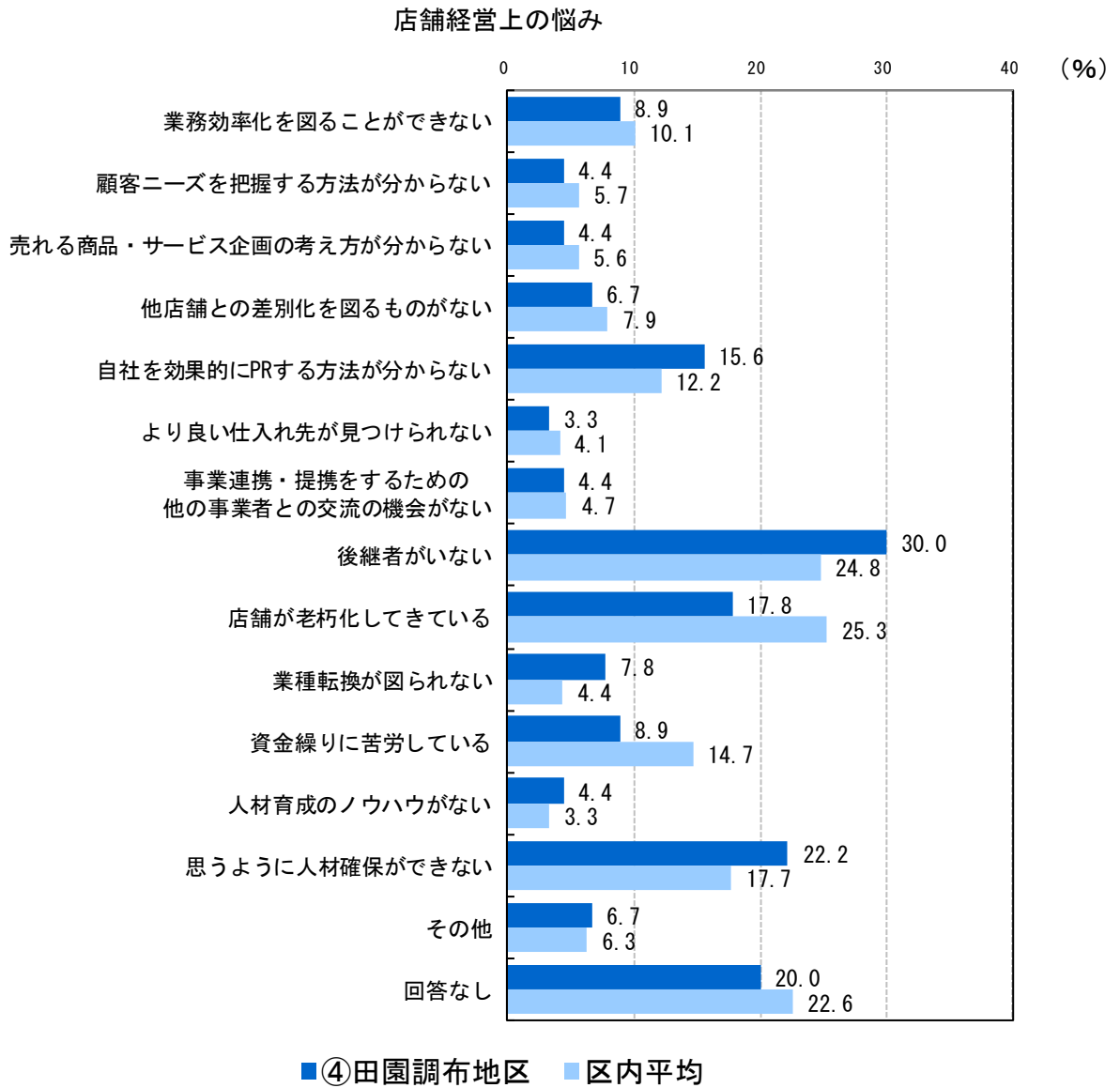
■コミュニティビジネスへのニーズ（個店調査アンケート 問7の地域別集計）

- ・区内平均と比べ、「まちづくり・地域活性化の支援」「会社や個人の事業支援」「子育て支援」ニーズが相対的に低く、「高齢者支援」「地域情報の発信」「環境・資源の保全」のニーズが、相対的に高い。



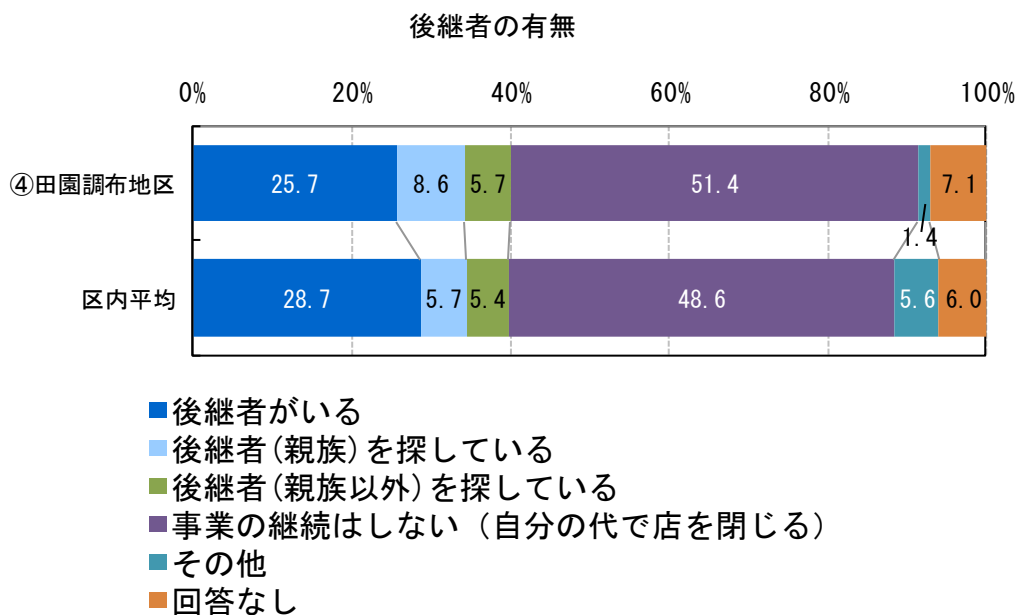
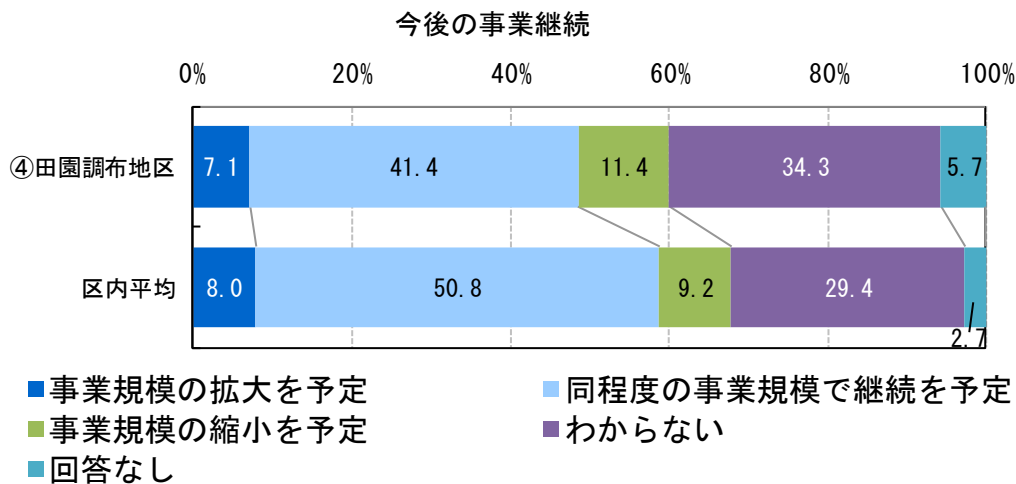
■店舗経営上の悩み（個店調査アンケート 問8の地域別集計）

・区内平均と比べ、「後継者がいない」「思うように人材確保ができない」という悩みの割合が相対的に高く、「店舗が老朽化してきている」「資金繰りに苦労している」という悩みの割合が相対的に低い。

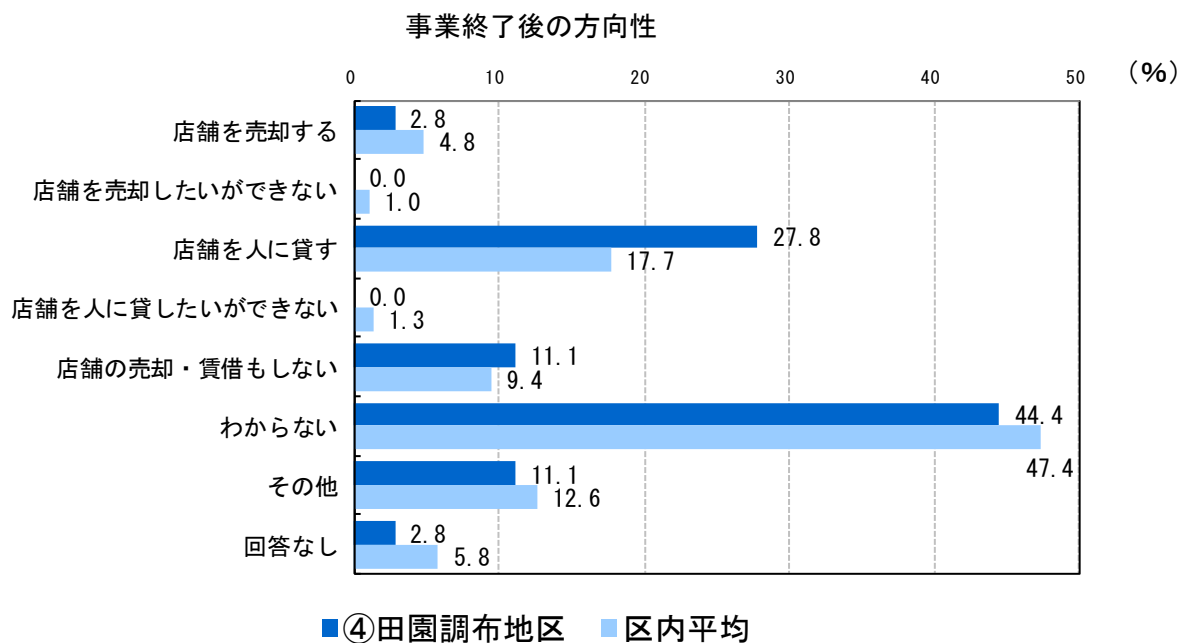


■後継者の有無と今後の事業継続（個店調査アンケート 問15の地域別集計）

- ・区内平均に比べて「事業規模の拡大を予定」と回答した割合が低く、「事業規模の縮小を予定」と回答した割合が高い。
- ・また後継者がいる店舗は3割未満と区内平均に比べて低く、5割は自分の代で店舗を閉める意向である。



・自分の代で店舗を閉める店のうち、「店舗を人に貸す」店は27.8%と区内平均より高い。



■ 地域の特徴・強み（個店調査アンケート 問18の地域別集計）

・ 地域の特徴・強みとして「自然(海、川、林、桜や海などの名所、野鳥、特有の植物・生物)」、「景観・風物(町並み、坂、橋、眺望、路地、長屋、旧家等)」「名所・旧跡(神社仏閣、街道、発祥の地、由緒あるもの等)」を挙げる割合が高く、いずれも区内平均を上回っている。

